さくら

税務と経営

編集発行人
税理士
三木　泰
事務所　〒597-0071
貝塚市加神1－11－17
TEL 072(431)1644

4月（卯月）APRIL

29日・昭和の日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

ワンポイント すまい給付金の支給額が19億7千万円

すまい給付金は、消費税率引上げによる負担増緩和のため平成26年４月から実施されていますが、国土交通省によると実施後９月までの半年間で7,710戸に給付し、給付額は約19億７千万円にのぼっています。給付金申請期限は住宅引渡し後１年以内。ただし、消費税率８％時で年収510万円以下の人が対象です。

４月の税務と労務

- 国　税／3月分源泉所得税の納付　4月10日
- 国　税／2月決算法人の確定申告（法人税・消費税等）　4月30日
- 国　税／8月決算法人の中間申告　4月30日
- 国　税／5月、8月、11月決算法人の消費税の中間申告（年3回の場合）　4月30日
- 地方税／給与支払報告に係る給与所得者異動届の提出　4月15日
- 地方税／固定資産税（都市計画税）の第1期分の納付　市町村の条例で定める日（原則4月中）
- 地方税／土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧　4月1日～4月20日　または最初の納期限のいずれか遅い日以後の日まで
- 地方税／軽自動車税の納付　市町村の条例で定める日（原則4月中）
- 労　務／労働者死傷病報告（休業4日未満：1月～3月分）　4月30日

終末糖化産物 Advanced Glycation End Products

終末糖化産物とは

老化を促進する物質として最近注目されているものに、「終末糖化産物」があります。終末糖化産物とは、タンパク質と糖が加熱されてできた物質で、Advanced Glycation End Productsの頭文字をとってAGEとも呼ばれています。

AGEは、肌のシミやシワだけではなく、心筋梗塞や骨粗しょう症、白内障などの疾病を引き起こす物質と言われています。

AGEができるしくみ

AGEは、血中のブドウ糖が過剰になると体の細胞や組織を作っているタンパク質と糖が結びつき、体温で熱せられて糖化(＝AGE化)が起こることで生成されます。ただ、初期の段階で糖の濃度が下がると元の正常なタンパク質に戻りますが、糖の濃度が高い状態が続くと元に戻れなくなり、AGEが体内に溜まっていきます。

また、AGEは様々な食べ物や飲み物に含まれています。例えばホットケーキは、小麦粉と卵や牛乳を混ぜたものを加熱して作ります。小麦粉には糖が、卵や牛乳にはタンパク質が多く含まれていますので、ホットケーキの表面のキツネ色の部分にはAGEが生成されています。このような飲食物を摂取しても、大部分のAGEは消化されて体外に放出されますが、７％程度のAGEは体内に溜まるようです。

体内に及ぼす影響

細胞や組織を作るタンパク質は、体内のあらゆるところに存在しています。つまりAGEは体内のあらゆるところで作られる可能性があります。体内でAGEが作られて蓄積されることで、様々な病気が引き起こされます。

例えば肌の張りや柔らかさを保つコラーゲンなどのタンパク質が、加齢によって長い間体温で加熱されることでAGE化されていきます。太陽の紫外線の影響も相まってコラーゲンが変質することで弾力性が失われ、シワやたるみが出てきます。またAGEは褐色の物質なので、シミやくすみの原因にもなります。

コラーゲンは、血管や骨にも存在していますので、血管のコラーゲンがAGE化すると動脈硬化が、骨のコラーゲンがAGE化すると骨粗しょう症につながります。

他にも、目の水晶体はクリスタリンというタンパク質でできています。このクリスタリンがAGE化すると、白内障の原因物質となります。肌や骨のコラーゲンは一定期間で代謝されますが、クリスタリンは新陳代謝されないタンパク質なので、よりAGEの蓄積が進んでいきます。

AGEの増加を防ぐには

前述のように、AGEは血中のブドウ糖が過剰になると体内で生成されます。つまり血糖値の急激な上昇につながる早食いは禁物です。また、食物繊維の多い野菜や海草類を最初に食べることで糖質の吸収を抑えることも、AGEを増やさない方法としては有効です。

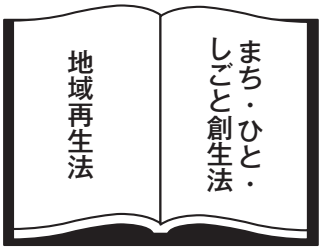
またAGEは体内で生成されるだけではなく飲食物からも摂取されますので、AGEの少ない食品を知ることも重要です。AGEは加熱する温度が高いほど多く発生しますので、揚げ物や炒め物といった高温で調理するものよりも、煮物やゆでたもの、蒸したもののほうが比較的AGEが少ないといえます。

AGEを測定する

自分自身のAGEを測定することは、様々な病気を未然に防ぐことにもつながります。今のところ確立されているAGEの測定方法は、血液検査とAGE測定器を使う方法の２つがあります。また将来的には、尿検査による方法の確立が見込まれています。

参考文献：AGE測定推進協会ホームページ

地方創生に関する法律



昨年末の臨時国会で、解散間際に地方創生に関する法律が可決成立しました。ひとつは「まち・ひと・しごと創生法」で、もうひとつは「地域再生法の一部を改正する法律」です。

まち・ひと・しごと創生法

⑴　目的

「まち・ひと・しごと創生法」は、少子高齢化への対応として、人口の減少に歯止めをかけることと、東京圏への人口の過度の集中を是正することで、各地域で住みよい環境の確保と将来にわたって活力のある日本社会の維持のための施策を計画的に実施することを目的としています。

具体的には、「まち」は国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成を、「ひと」は地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保を、「しごと」は地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を目指しています。

⑵　基本理念

この法律の第２条には、まち・ひと・しごと創生についての７つの基本理念が記されています。

まず、①国民が地域社会で潤いのある豊かな生活を営めるように、地域の実情に応じた環境を整備することや、②日常生活や社会生活の基盤となるサービスについて、需要と供給を長期的に見通しながら、現在から将来にわたって提供を確保することを進めていきます。

また、③結婚や出産・育児について希望を持てる社会が形成される環境の整備や、④仕事と調和を図れるように環境を整備することも目指しています。

さらには、⑤地域の特性を生かした創業の促進や事業活動の活性化によって、魅力ある就業の機会を創出することや、⑥地域の実情に応じて、地方公共団体が相互に連携協力することで効率的な行政運営を確保すること、⑦そして前記６つの事項を実施するにあたっては、国や地方公共団体と事業者が相互協力をするように努めるとされています。

地域再生法

⑴　目的

地域再生法は、少子高齢化が急速に進んでいることや産業構造の変化といった、社会経済情勢の変化に対応するために、地方公共団体が地域経済の活性化や地域における雇用機会の創出といった、地域の活力の再生を総合的かつ効果的に推進することを目的に、平成17年４月に施行されました。

⑵　改正の内容

今回の改正では、地域再生に資する事業者などが、地方公共団体に対して地域再生計画の作成や地域再生協議会を組織することを求めることができるようになります。また、地域再生に資する事業に対して貸付を行う金融機関に対して利子補給をすることで、金融面での支援を受けることができるようになります。

さらに、地域再生基本計画が、今回創設された「まち・ひと・しごと創生法」に規定される「まち・ひと・しごと総合戦略」などと調和が保たれるようにすることが明記されています。

⑶　基本理念と国の責務

地域再生法は、地域が主体となって創意工夫を生かしながら、潤いのある豊かな生活環境の創造と、地域住民が誇りと愛着を持てる地域社会の実現を図ることを基本としています。地域の地理的・自然的特性や多様な人材を活用した事業活動を活性化し、魅力的な就業機会を創出することをはじめとする経済基盤の強化と生活環境の整備を行うことを目指しています。

国は、このような基本理念にのっとって、地方公共団体の自主性を尊重しつつ、地域再生に関する施策の策定と、その施策を実施することが求められています。

地下街などの浸水防災対策

ここ数年、大規模な水害が国内だけではなく海外でも増えています。特に地下空間は、地上の状況を把握しにくいために避難行動の開始が遅れる傾向にあることや、水の流入経路と避難経路が重なる可能性が高いため、流入してくる水に逆らって避難することは困難であること、さらには水圧で扉が開かなくなることや停電で視界が不良になることで位置関係や周辺の状況が把握できなくなるといったリスクがあります。

過去には、地下街においてさまざまな浸水被害が起こっています。例えば平成11年には福岡市で、河川が氾濫したため博多駅周辺の地下街や地下鉄などに大量の水が流れ込み、地下室に閉じ込められた人が死亡しました。また、平成25年には京都市営地下鉄の御陵駅や小田急電鉄の下北沢駅の地下構内が浸水する被害も発生しています。京都の場合は、運休が４日間続きました。海外でもニューヨーク市内の地下鉄のトンネルが浸水したため、全線の復旧に9日間も要したという事例もあります。このように地下街などの浸水被害は、人命やライフラインに大きな被害をもたらします。

そこで国土交通省は、「水災害に関する防災・減災対策本部」を設置し、その中に「地下街・地下鉄等ワーキンググループ」を置いて対策を検討してきました。このワーキンググループでは、水災害に対する国土交通省の役割と機能についての国民への周知方法や、大規模水害時に強化すべき機能の抽出などが検討されました。これらの検討は、「地下街等推進対策要綱（仮称）」の策定を念頭に進められています。地下空間が広域であり、多数の出入口や接続口が複雑に接続されているため、避難誘導や浸水防災対策が困難なものになっていることが、課題として挙げられています。そのため、地下空間施設の所有者や管理者と連携して対策に取り組む必要があるとされています。

ベンタブラック

イギリスの企業が、「ベンタブラック」という世界で最も黒い物質を開発しました。

物体に光が当たると光の一部は吸収され、吸収されず物体から反射された光の波長を人間の目の網膜が受け取り、脳が色を認識します。通常の黒色の場合、光の吸収率が九五～九八％ですが、ベンタブラックは、九九・九六％の光を吸収します。

ベンタブラックは、直径二～三ナノメートルの多数のカーボンナノチューブからできており、アルミホイル上で生成されます。ベンタブラックに覆われたアルミホイルは、ベンタブラックが持つ高い光の吸収率により、人の目では凹凸を識別できなくなります。ベンタブラックは、望遠鏡や赤外線検知器といった光を好まない機器への利用とともに、兵器産業や宇宙産業からも注目されています。

新入社員のやる気をなくす言葉

４月は、新入社員が入社する時期です。ソニー生命の調査によると、若手社員がやる気をなくす言葉の第１位は、「この仕事、向いていないんじゃない？」（44.9％）だったそうです。

この調査は、2013年から2014年春にかけて就職した社会人男女1,000人に対して、インターネット上で実施されました。

２位以下は「ゆとり世代だなぁ」（37.4％）、「やる気ある？」（35.8％）、「そんなことは常識でしょ」（25.5％）、「私が若いころは○○だったのに」（22.2％）と続きます。

就職して３年以内に離職する割合が、大学卒の場合３割ほどあるようです。上司が仕事の内容を説明しないまま「とりあえず黙ってやれ」と命令することや、新入社員が挨拶をしても上司が挨拶を返さないといった、新入社員が定着しにくい職場環境が醸成されている場面もあるようです。